

事務事業名		農道維持事業		所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
総 計 画 体 系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	農林道グループ	課長名	細木 浩之
	施策名	〈36〉農業の振興		担当者名	江角徹	電話番号	0854-40-1053
	目的 対 象	市内の農家	意 図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農 業所得が向上する。		(内線)	2402
	基本事業名	〈108〉農業基盤の保全		予算科目	会計 款 大事業 大 0 1 3 0 0 1 事業名 項 目 中事業 中 0 5 7 5 0 1 事業名	農道維持事業	
目的 対 象	担い手農家・担い手以外農家	意 図	農業の生産性を維持・向上できるようにする。		農道維持事業		

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度 ~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
① 農道の維持管理 ② 飯石広域農道、熊萱農免農道等、農道の 除草作業等委託

(2) 事務事業の手段・指標

手 段	① 主な活動					
	29年度実績(29年度に行った主な活動)	30年度計画(30年度に計画する主な活動)				
	① 市内の農道照明等の電気料支払い ② 農道の除草委託 ③ 農道の維持修繕作業 ※平成28年度より組織改革により、市内農道 全域を担当	① 市内の農道照明等の電気料支払い ② 農道の除草委託 ③ 農道の維持修繕作業				
	② 活動指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	ア 支払件数(工事・修繕・委託)	件	21	51	66	60
	イ 契約件数	件	8	10	6	2
	ウ 補修箇所数	箇所	2	15	34	30
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目 的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)
	① 農業従事者 ② 市民	ア 市内の農業所得総額	億円	-5.2	-3.4	-3.4	-2.0
		イ 人口【国勢調査(推計)】	人	39,032	38,506	37,794	37,987
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	
① 安心・安全な農畜産物が生産でき、農 家所得が向上する。 ①②利用できる	ア JA雲南販売額	億円	23.2	21.0	23.0	25.0	
	イ 市内の農業所得総額	億円	-5.2	-3.4	-3.4	-2.0	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
【消耗品費】343千円、【光熱水費】2,791千円、 【修繕費】6,202千円、【通信運搬費】658千円、 【手数料】3,549千円、【管理運営委託】1,691千 円、【使用料】4千円、【工事材料費】141千円 合計額15,379千円 ※平成28年度より市全体の予算額	財 源 内 訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	2,550	14,219	15,379	11,181
	事業費計(A)	千円	2,550	14,219	15,379	11,181
人 件 費	正規職員従事人数	人	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	30	30	30	
	人件費計(B)	千円	117	119	122	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,667	14,338	15,501	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対 象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始 時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革 改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して 市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や 要望が寄せられているか?)
・農道の供用開始より数年経過し、補修が必要 な箇所が多数ある。 ・猪の仕業による法面の落石・側溝への土砂 の堆積など頻発している。	必要な箇所について補修を行っている。	維持要望が多数寄せられる。

事務事業名	農道維持事業	所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
-------	--------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	現在最低限で適正な管理をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	管理業務であり統廃合できない。	
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	農道の周辺除草は地元団体へ安価でお願いしている。また、トンネルの電気料等の経費であるため削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	市が管理すべき農道であり削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	公道であるため、誰でも利用できるため公平であり、市が管理すべきものである。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)			農道の維持管理は適正にしており、不適による事故は発生しなかった。
・管理業務であり予算内で適正に維持することが重要である。 ・しかし農道利用者の安全面から緊急的に対応しなければならない事案もある。			

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
・管理業務であり予算内で適正に維持することが重要である。 ・しかし農道利用者の安全面から緊急的に対応しなければならない事案もある。	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																		